

2019 年度活動記録

展覧会

水田コレクション浮世絵展 役者絵

浮世絵のジャンルの中でもその始まりから今日まで続く、最も重要な「役者絵」。

「ひょうたん足、みみず描き」で錦絵以前の役者絵を独占した鳥居派にはじまり、錦絵以降の勝川春章、一筆斎文調による役者の面貌を描き分ける似顔表現の登場や、寛政期に東洲斎写楽による役者似顔をクローズアップした「大首絵」の流行、そして、江戸後期には、歌川派絵師らの活動でワイドスクリーン画面を表出させた続物、創意工夫を凝らした揃物など、多彩な展開が見られた。本展では、鳥居派、勝川派、写楽、そして、幕末最大画派となった歌川派の作品をご覧いただきながら役者絵の流れを、コレクションを通して辿っていった。

会 期 | 2019年4月9日（火）～27日（土）

会 場 | 水田美術館2階ギャラリー1

主 催 | 城西大学水田美術館

観覧者数 | 645人

関連企画 | 講演会「役者絵の楽しみ方」

講師：新藤茂（国際浮世絵学会常任理事）

4月13日（土）14時～15時30分／会場：城西大学
水田三喜男記念館 講堂

・学芸員によるギャラリートーク 学芸員：紫村裕美

4月27日（土）14時～14時30分頃／会場：展示室

記事掲載 | 毎日新聞（2019/4/5発行）、埼玉新聞（2019/4/16発行）



出品作品 |

No.	作品名	作者名	制作年	材質技法、員数／所蔵
1	延宝三年市村座顔見世番付	無款	延宝3年(1675)	大判墨摺
2	扇面役者図	伝英一蝶	元禄(1688～1704)頃	紙本着色 一面
3	瀬川菊次郎のお菊	二代鳥居清倍	享保16年～寛保3年(1731～43)頃	細判漆絵
4	坂東彦三郎と沢村宗十郎	二代鳥居清信	元文期(1736～41)	細判漆絵

5	そて崎いせの	西村重長	享保(1716~36)後期	細判漆絵
6	山下八百蔵	一筆斎文調	明和(1764~72)末頃	細判錦絵
7	(右)二代目市川八百蔵の 富士左近之助行家	勝川春章	安永 2年(1773)	細判錦絵二枚続 のうち右
8	(左)四代目松本幸四郎の 浅間左衛門照政	勝川春章	安永 2年(1773)	細判錦絵二枚続 のうち左
9	二代目岩井喜代太郎の驚坂 左内女房藤浪と坂東善次の 驚塚官太夫女房小笹	東洲斎写楽	寛政 6年(1794)	大判錦絵
10	二代目嵐龍蔵の奴浮世又平	東洲斎写楽	寛政 6年(1794)	細判錦絵
11	三代目市川八百蔵の梅王丸	歌川国政	寛政 8年(1796)	大判錦絵
12	伊達競阿国戯場	歌川豊国	文政元年(1818)	大判錦絵四枚続
13	義勇八犬伝 犬田小文吾悌 順	歌川国芳	嘉永元年(1848)	大判錦絵 ／城西国際大学水田美術館
14	清書七以呂波 とう天こう 土師兵衛 宿祢太郎	歌川国貞 (三代豊国)	安政 3年(1856)	大判錦絵
15	清書七以呂波 こくせんや かんき ワとうない	歌川国貞 (三代豊国)	安政 3年(1856)	大判錦絵
16	大経師女房おさん 手代茂 兵衛 大経師源太郎と番頭 助右衛門	歌川国貞 (三代豊国)	安政 4年(1857)	大判錦絵三枚続
17	梅幸百種之内 天一坊 故坂東彦三郎の大岡越前守	豊原国周	明治 26年(1893)	大判錦絵
18	梅幸百種之内 黒手組助六 九代目市川団十郎の鳥居新 左衛門	豊原国周	明治 27年(1894)	大判錦絵
19	鬢尽くし (鬢着せ替え絵)	歌川芳虎	安政 5年(1858)	大判錦絵 ／城西国際大学水田美術館
20	櫓水滸傳喜男意壽古録	歌川国周	元治元年(1864)	錦絵 (双六絵)
21	絵本舞台扇	一筆斎文 調・勝川春 章	明和 7年(1770)	彩色摺絵本 三冊
22	今昔児手柏一 しほ干の与 三・かうもり安	歌川国貞 (三代豊国)	安政 2年(1855)	大判錦絵 ／城西国際大学水田美術館
23	八代目市川団十郎・坂東し うか・三代目嵐音八死絵	無款	安政 2年(1855)	大判錦絵 ／城西国際大学水田美術館
24	御好三階二天幕を見る図	歌川国貞 (三代豊国)	文久元年(1861)	大判錦絵三枚続 ／城西国際大学水田美術館
25	東都繁栄乃図	歌川広重	安政元年(1854)	大判錦絵三枚続 ／城西国際大学水田美術館

2018年度収蔵品展 Part1. 《大江戸芝居年中行事》 －明治の浮世絵にみる江戸の歌舞伎興行－

2018年度の収蔵品を紹介する「2018年度収蔵品展」を2回に分けて開催。

第一弾では、「《大江戸芝居年中行事》－明治の浮世絵にみる江戸の歌舞伎興行－」とし、明治30年（1897）に制作された《大江戸芝居年中行事》26枚揃のうち25点を展示した。墨摺りの版本では味わえない、鮮やかな多色摺りの浮世絵版画から、江戸時代の歌舞伎に思いを馳せて頂いた。

会 期 | 2019年5月9日（木）～6月8日（土）

会 場 | 水田美術館2階ギャラリー1

主 催 | 城西大学水田美術館

観覧者数 | 478人

関連企画 | ・学芸員によるギャラリートーク

学芸員：紫村裕美5月25日（土）14時～14時40分頃

／会場：展示室

記事掲載 | 東京新聞（2019/5/13発行）、地域新聞ショッパー
（2019/5/24発行）



出品作品 |

No.	作品名	作者名	制作年	材質技法
1	大江戸芝居年中行事 目録口上		明治30年(1897)	大判錦絵
2	大江戸芝居年中行事 翁渡し	鳥居清貞	明治30年(1897)	大判錦絵
3	大江戸芝居年中行事 芝居町の初春	安達吟光	明治30年(1897)	大判錦絵
4	大江戸芝居年中行事 猿若の宝物	安達吟光	明治30年(1897)	大判錦絵
5	大江戸芝居年中行事 ワキ狂言	安達吟光	明治30年(1897)	大判錦絵
6	大江戸芝居年中行事 風聞き	鳥居清貞	明治30年(1897)	大判錦絵
7	大江戸芝居年中行事 くじ取	鳥居清貞	明治30年(1897)	大判錦絵
8	大江戸芝居年中行事 乗り込み	鳥居清貞	明治30年(1897)	大判錦絵
9	大江戸芝居年中行事 二ツ目	鳥居清貞	明治30年(1897)	大判錦絵
10	大江戸芝居年中行事 引幕と口上	安達吟光	明治30年(1897)	大判錦絵
11	大江戸芝居年中行事 楽屋入り	鳥居清貞	明治30年(1897)	大判錦絵
12	大江戸芝居年中行事 読み立て	鳥居清貞	明治30年(1897)	大判錦絵

13	大江戸芝居年中行事	感亭流	鳥居清貞	明治30年(1897)	大判錦絵
14	大江戸芝居年中行事	板囲ひ	鳥居清貞	明治30年(1897)	大判錦絵
15	大江戸芝居年中行事	場釣り提灯	鳥居清貞	明治30年(1897)	大判錦絵
16	大江戸芝居年中行事	大箱提燈	鳥居清貞	明治30年(1897)	大判錦絵
17	大江戸芝居年中行事	大津稻荷	安達吟光	明治30年(1897)	大判錦絵
18	大江戸芝居年中行事	紋看板	鳥居清貞	明治30年(1897)	大判錦絵
19	大江戸芝居年中行事	お目見得	安達吟光	明治30年(1897)	大判錦絵
20	大江戸芝居年中行事	木戸羽織	鳥居清貞	明治30年(1897)	大判錦絵
21	大江戸芝居年中行事	さし出し・かん てら	安達吟光	明治30年(1897)	大判錦絵
22	大江戸芝居年中行事	披露目の口上	安達吟光	明治30年(1897)	大判錦絵
23	大江戸芝居年中行事	顔寄せの式	安達吟光	明治30年(1897)	大判錦絵
24	大江戸芝居年中行事	序開	安達吟光	明治30年(1897)	大判錦絵
25	大江戸芝居年中行事	黒札	鳥居清貞	明治30年(1897)	大判錦絵

2018年度収蔵 新収蔵品展 Part2.楊洲周延《時代かゞみ》全点展示

2018年度の収蔵品を紹介する「2018年度収蔵品展」を2回に分けて開催。

第二弾では、「楊洲周延《時代かゞみ》全点展示」と題し、明治29年（1896）から翌30年にかけて制作された明治の浮世絵師、楊洲周延による美人画の代表作《時代かゞみ》大判錦絵53枚揃い全点を前期後期に分けてご紹介した。

会 期 | 前期 2019年6月11日（火）～7月6日（土）

後期 2019年7月10日（水）～8月3日（土）

会 場 | 水田美術館2階ギャラリー1

主 催 | 城西大学水田美術館

観覧者数 | 656人（前後期計）

関連企画 | ・学芸員によるスライドトーク 学芸員：紫村裕美

7月6日（土）、7月20日（土）14時～14時40分頃／

会場：城西大学水田記念図書館3階グループ学習室

記事掲載 | 広報さかど（2019/6/1発行）、広報さかど（2019/7/1

発行）、東京新聞（2019/7/9発行）



出品作品 | 前期 (6/11-7/6)

No.	作品名	制作年	材質技法
1	時代かゞみ 序詞 目録	明治 29 年(1896)	大判錦絵五十三枚揃のうち二枚続
2	時代かゞみ 附録	明治 29 年(1896)	大判錦絵五十三枚揃のうち
3	時代かゞみ 建武之頃 竹馬の古図	明治 30 年(1897)	大判錦絵五十三枚揃のうち
4	時代かゞみ 文安之頃 見世棚の古図	明治 30 年(1897)	大判錦絵五十三枚揃のうち
5	時代かゞみ 享徳之頃 まき絵し 貝ずり	明治 30 年(1897)	大判錦絵五十三枚揃のうち
6	時代かゞみ 慶長の頃 阿国歌舞伎	明治 29 年(1896)	大判錦絵五十三枚揃のうち
7	時代かゞみ 元和之頃 左甚五郎	明治 29 年(1896)	大判錦絵五十三枚揃のうち
8	時代かゞみ 寛永之頃 洗湯がへり	明治 29 年(1896)	大判錦絵五十三枚揃のうち
9	時代かゞみ 寛永之頃 お乳母日傘	明治 30 年(1897)	大判錦絵五十三枚揃のうち
10	時代かゞみ 寛永之頃 元旦登城	明治 29 年(1896)	大判錦絵五十三枚揃のうち
11	時代かゞみ 正保之頃 蝙蝠羽織	明治 30 年(1897)	大判錦絵五十三枚揃のうち
12	時代かゞみ 慶安の頃 浅葱椀	明治 30 年(1897)	大判錦絵五十三枚揃のうち
13	時代かゞみ 明暦之頃 手鞠之古図	明治 30 年(1897)	大判錦絵五十三枚揃のうち
14	時代かゞみ 寛文之頃 杖提灯	明治 30 年(1897)	大判錦絵五十三枚揃のうち
15	時代かゞみ 延宝之頃 狂言梅ヶ妻 滝井山三郎	明治 29 年(1896)	大判錦絵五十三枚揃のうち
16	時代かゞみ 天和の頃 塗笠 あみ笠	明治 29 年(1896)	大判錦絵五十三枚揃のうち
17	時代かゞみ 天和之頃 桔梗笠	明治 29 年(1896)	大判錦絵五十三枚揃のうち
18	時代かゞみ 貞享之頃 ぶりぶり 玉うち	明治 29 年(1896)	大判錦絵五十三枚揃のうち
19	時代かゞみ 元禄之頃 端午	明治 29 年(1896)	大判錦絵五十三枚揃のうち
20	時代かゞみ 元禄之頃 耳の垢取りの古図	明治 30 年(1897)	大判錦絵五十三枚揃のうち
21	時代かゞみ 宝永之頃 宝永出現	明治 30 年(1897)	大判錦絵五十三枚揃のうち
22	時代かゞみ 享保之頃 手車翁	明治 30 年(1897)	大判錦絵五十三枚揃のうち
23	時代かゞみ 享保の頃 紅絵売	明治 29 年(1896)	大判錦絵五十三枚揃のうち
24	時代かゞみ 寛延之頃 雛祭	明治 29 年(1896)	大判錦絵五十三枚揃のうち
25	時代かゞみ 宝暦之頃 顔見世	明治 29 年(1896)	大判錦絵五十三枚揃のうち

26	時代かゞみ	明和之頃	貝おけ	明治 30 年(1897)	大判錦絵五十三枚揃のうち
27	時代かゞみ	安永之頃	鏡磨	明治 29 年(1896)	大判錦絵五十三枚揃のうち

出品作品 | 後期 (7/10-8/3)

No.	作品名			制作年	材質技法
1	時代かゞみ	序詞	目録	明治 29 年(1896)	大判錦絵五十三枚揃のうち二枚続
2	時代かゞみ	附録		明治 29 年(1896)	大判錦絵五十三枚揃のうち
3	時代かゞみ	安永之頃	櫛巻	明治 30 年(1897)	大判錦絵五十三枚揃のうち
4	時代かゞみ	天明之頃	雑司ヶ谷会式	明治 29 年(1896)	大判錦絵五十三枚揃のうち
5	時代かゞみ	寛政之頃	山王祭礼	明治 30 年(1897)	大判錦絵五十三枚揃のうち
6	時代かゞみ	享和之頃	弥生の花見	明治 29 年(1896)	大判錦絵五十三枚揃のうち
7	時代かゞみ	文化之頃	とり追	明治 29 年(1896)	大判錦絵五十三枚揃のうち
8	時代かゞみ	文政之頃	靄御成	明治 29~30 年 (1896-97)	大判錦絵五十三枚揃のうち
9	時代かゞみ	文政之頃	節季ぞろ	明治 29 年(1896)	大判錦絵五十三枚揃のうち
10	時代かゞみ の使	天保の頃	正月三日 愛宕山毘沙門	明治 29 年(1896)	大判錦絵五十三枚揃のうち
11	時代かゞみ	弘化の頃	勸進の前掛り	明治 29 年(1896)	大判錦絵五十三枚揃のうち
12	時代かゞみ	弘化之ころ	灌仏会	明治 30 年(1897)	大判錦絵五十三枚揃のうち
13	時代かゞみ	弘化之頃	金ひら詣 水売	明治 29 年(1896)	大判錦絵五十三枚揃のうち
14	時代かゞみ	嘉永之頃	双六うり 払扇箱買	明治 29 年(1896)	大判錦絵五十三枚揃のうち
15	時代かゞみ	嘉永之頃	上野 法華堂 常行堂	明治 30 年(1897)	大判錦絵五十三枚揃のうち
16	時代かゞみ	安政之頃	飛鳥山かわらけなげ	明治 29 年(1896)	大判錦絵五十三枚揃のうち
17	時代かゞみ	万延之頃	徳川時代献上もの	明治 30 年(1897)	大判錦絵五十三枚揃のうち
18	時代かゞみ	文久乃ころ	品川沖汐干がり	明治 29 年(1896)	大判錦絵五十三枚揃のうち
19	時代かゞみ	元治之頃	海案寺の紅葉	明治 30 年(1897)	大判錦絵五十三枚揃のうち
20	時代かゞみ	慶応之頃	よつ手駕	明治 29 年(1896)	大判錦絵五十三枚揃のうち
21	時代かゞみ	明治	皇居	明治 30 年(1897)	大判錦絵五十三枚揃のうち
22	時代かゞみ	明治	隅田川ボート競走会	明治 29 年(1896)	大判錦絵五十三枚揃のうち

23	時代かゞみ	明治	憲法発布	明治 30 年(1897)	大判錦絵五十三枚揃のうち
24	時代かゞみ	明治	臥龍梅	明治 30 年(1897)	大判錦絵五十三枚揃のうち
25	時代かゞみ	明治	慈善会	明治 30 年(1897)	大判錦絵五十三枚揃のうち
26	時代かゞみ	明治	遊就館	明治 30 年(1897)	大判錦絵五十三枚揃のうち
27	時代かゞみ	明治之頃	祝捷会	明治 29 年(1896)	大判錦絵五十三枚揃のうち

第4回めつけたさかど！デジタルフォトコンテスト入賞作品展

本学のある坂戸市では、観光資源の更なる魅力づくりと新たな観光資源の創造、発掘を目的に、市民および坂戸市への来訪者が坂戸市でめつけた（見つけた）四季折々の自然や行事、まちの風景などを思い思いに撮影した写真を募集しコンテストを開く「めつけたさかど！デジタルフォトコンテスト」を2015年より開催している。本展では、坂戸市にある美術館として、地域の魅力を伝える一助となれるよう、コンテストの入賞作品をパネルにして紹介。

会 期 | 2019年5月9日（木）～7月6日（土）

会 場 | 水田美術館2階ギャラリー2

主 催 | 城西大学水田美術館

後 援 | 坂戸市、坂戸よさこい実行委員会

観覧者数 | 834人

出品点数 | 38点（最優秀賞写真2点、優秀賞写真6点、入賞30点）



浮世絵 meets 紙の魔術師

江戸のペーパークラフト組上絵×太田隆司ペーパーアート展 —時代（とき）を超えて出逢う紙の世界—

本展では、浮世絵のおもちゃ絵の一種となる組上絵を当館所蔵品からご紹介し、平面の版画から立体空間へと生まれ変わる面白さを感じて頂いた。併せて、「現代の組上絵」とも呼べる立体世界を作り上げる紙の魔術師、太田隆司のペーパーアート作品もご紹介した。組上絵4件28点、複製組立完成4点、太田隆司作品30点を展示し、時を超えて巡り遭う組上絵とペーパーアートが織りなす紙の世界をお楽しみ頂いた。

会 期 | 2019年9月10日（火）～10月5日（土）

会 場 | 水田美術館2階ギャラリー1、2

主 催 | 城西大学水田美術館

協 力 | 株式会社ビー・ブレーブ

観覧者数 | 569人

関連企画 | ・組上絵ギャラリートーク 学芸員：紫村裕美

9月14日（土）14時～14時40分頃／会場：展示室
（ギャラリー1）

・太田隆司ギャラリートーク＋ペーパーアートワーク
ショップ「3Dメッセージカードを作ろう！」

講師：太田隆司（ペーパーアーティスト）

9月28日（土）13時～15時／会場：展示室（ギャラリー2）

記事掲載 | 広報さかど（2019/9/1発行）、産経新聞（2019/9/13発行）

メディア | テレビ埼玉（2019/9/26放送）



出品作品 | ギャラリー1：組上絵

No.	作品名	作者名	制作年	材質技法
1	新板十二ヶ月之組上	二代歌川豊久	文政～天保(1830～42)頃	大判錦絵七枚続
2	田舎源氏組上之図	二代歌川豊久	嘉永5年(1852)頃	大判錦絵九枚続
3	東錦絵大當芝泉	歌川国郷	安政6年(1859)	大判錦絵九枚続
4	明治座新狂言扇屋熊谷 組上三枚続	梅堂 (三代歌川国貞)	明治27年(1894)	大判錦絵三枚続
5	准源氏教訓図会 絵合	歌川国芳	天保末～弘化期 (1843～47)	大判錦絵
6	西洋日本束髪かつらつけ	作者不詳	明治18年(1885)	大判錦絵
7	御歳暮やまと新聞（香箱組上絵）	作者不詳	明治22年(1889)	大判錦絵
8	新板 いせうつけ	作者不詳	明治30年(1897)	大判錦絵

出品作品 | ギャラリー2：太田隆司ペーパーアート

Scene	作品名	制作年	寸法
1	日本橋トリプルスリー	2018年9月	25.0×35.0×30.0
2	ようこそ秩父路へ～冬の彩華街道～	2011年2月	60.0×30.0×30.0

3	所沢記念航空公園	2007年8月	30.5×62.5×30.0
4	所沢記念航空公園 II	2017年1月	60.0×30.0×30.0
5	BRZ & 86 PARTS CATALOGUE	2012年6月	63.0×48.0
6	音戸海峡～音戸の渡し～	2010年4月	37.0×48.5×30.0
7	水郷のある街	2005年6月	40.0×80.0×29.0
8	君暮らす街 II	2008年3月	45.0×70.0×20.0
9	期待の夕暮れ	2005年7月	40.0×68.0×30.0
10	映画館の記憶	2005年5月	54.0×68.0×40.0
11	国道134号 湘南～鎌倉サーファーライン	2010年7月	60.0×30.0×30.0
12	泣かないでっ	2007年3月	40.0×68.0×40.0
13	真夏の贈りもの	2004年8月	54.0×62.0×40.0
14	荒物屋	2002年11月	40.0×68.0×20.0
15	275 TOUR	2007年2月	51.0×54.0×40.0
16	ペダルス in シュツットグルト	2001年11月	40.0×68.0×20.0
17	東京雷門 西暦2007	2004年1月	45.0×85.0×40.0
18	アクシデント	2006年4月	51.0×54.0×30.0
19	ホンダの夢、琴電のモーター音	1999年9月	41.5×71.5×19.0
20	黒野へ	2000年8月	51.0×54.0×20.0
21	箱根湯本ロマンシングロード	2013年5月	50.0×40.0×30.0
22	世田谷線 下高井戸駅	2001年3月	40.0×68.0×20.0
23	東京下町 人を暮らしをのせて... 三部作右 ③	2007年3月	50.0×50.0×30.0
24	東京下町 人を暮らしをのせて... 三部作中 中央②	2007年3月	40.0×78.0×30.0
25	東京下町 人を暮らしをのせて... 三部作左 ①	2007年3月	50.0×50.0×30.0
26	Summer City Road 山手通り+新目白通り	2010年7月	53.0×44.0×40.0
27	山手通り 西郷橋～東京雪景色～	2009年12月	42.5×55.0×36.0

28	ウイニングヒストリー	2006年9月	40.0×80.0×30.0
29	東京、乃木坂～六本木 Let's go over the hills 丘を越えていこうよ♪	2011年4月	70.0×40.0×30.0
30	Active! いきまっせ大阪	2018年9月	30.0×35.0×30.0

サカツ・コレクション 日本のポスター芸術 ー引札、ポスターにみる広告アートヒストリーー

19世紀末、欧米から商品とともに宣伝物として流入したのを契機に始まったとされる日本のポスター。その源流は、浮世絵や引札、絵暦に求める事が出来る。実用的な広告印刷物であったが、時代が下るにつれ鑑賞に耐え得る芸術性が加味され、芸術作品としての価値を高めていった。本展では、名古屋に本社を構える老舗の酒類販売会社、株式会社サカツコーポレーション所蔵の「サカツ・コレクション」500点を超える中から、引札をはじめ、明治・大正・昭和までのポスター70点を厳選し前後期に分けて紹介した。

会 期 | 前期 2019年10月23日（水）～11月16日（土）
後期 2019年11月19日（火）～12月21日（土）

会 場 | 水田美術館2階ギャラリー1、2

主 催 | 城西大学水田美術館

協 力 | (株)サカツコーポレーション

企画協力 | E.M.I.ネットワーク

調査協力 | 田島奈都子

観覧者数 | 970人（前後期計）

関連企画 | ・講演会「サカツ・コレクションにみる日本広告芸術の流れ」

講師：田島奈都子（青梅市立美術館学芸員）

11月9日（土）13時30分～15時30分／会場：水田三喜男記念館講堂

・ギャラリートーク「美人画ポスター鑑賞のツボ」講師：田島奈都子

12月7日（土）14時40分～15時40分／会場：展示室

・学芸員によるギャラリートーク 学芸員：紫村裕美

11月16日（土）、12月14日（土）14時～14時40分／会場：展示室

記事掲載 | 広報さかど（2019/10/1発行）、広報さかど（2019/11/1発行）

地域新聞ショッパー（2019/11/8発行）、広報さかど（2019/12/1発行）

メディア | J:COM 川越（2019/10/1～11/9告知テロップ放送）、

J:COM 川越（2019/11/28ギャラリートーク告知案内放送）

テレビ埼玉（2019/11/28放送）



出品作品 | 前期 (10/23-11/16)

第1会場 ギャラリー1 〈引札、明治～大正初期頃のポスター〉

No.	作品名	作者名	制作年	印刷所	所蔵
1	坂田商店引札				*サ
2	長坂商店引札	(川崎巨泉)			*サ
3	東京ビール宣伝掛札		明治 29～38 年 (1896-1905)		*サ
4	エビスビール宣伝掛札		明治 27～38 年 (1894-1905)	泰錦堂石印	*サ
5	ダイヤモンド印サイダー・ オレンジポスター		明治 36～44 年 (1903-11)頃	三間印刷所	*サ
6	サッポロビールポスター 富士を背にしてグラスを持つ和服の女 性		明治 36～39 年 (1903-06)		*サ
7	白鶴ポスター 鶴模様の和服を着た女性		明治 30～43 年 (1897-1910)	中田印刷所	*サ
8	大日本麦酒ポスター 七本の瓶と母子	織田東兔	明治 43 年(1910)	日本精版印刷 合資会社	*サ
9	タカラサイダーポスター ドレス姿でサイダーを飲む女性		明治 43 年(1910) 頃		*サ
10	東洋鶴ポスター		明治 43 年～大正 初期(1910 年代後 半)		*サ
11	三ツ矢サイダーポスター サイダーを盆で運ぶ女性	北野恒富	大正 3 年(1914)頃	日本精版印刷 合資会社	*サ
12	小川商店ポスター		明治末～大正初期 (1910 年代半ば)		*サ
13	カブトビールポスター テーブルの上の薔薇と二人の女性		大正 4 年(1915)	三間印刷所	*サ
14	サクラビールポスター 菖蒲を背にした和服の女性	北野恒富	大正 2 年(1913)	日本精版印刷 合資会社	*サ
15	キリンビールポスター 雑誌「嗜好」を手にする和服の女性		大正 4 年(1915)	オフセット印 刷株式会社	*サ
16	キンシ正宗ポスター 紫色の和服の女性	北野恒富	大正 3 年(1914)	日本精版印刷 合資会社	*サ
17	青物商八百瀬 [引札]		明治末～大正期頃		*図
18	萬染物屋紺伴 [引札]		明治末～大正期頃		*図
19	解熱散 [引札]		明治 40 年(1907)		*図
20	中将湯 [引札]		明治末～大正期頃		*図

21	川越喜多町間坂伊兵衛引札	明治中～後期頃	*美
22	かねのなる木 [引札]	明治末～大正期頃	*図

第2会場 ギャラリー2〈大正期のポスター〉

No.	作品名	作者名	制作年	印刷所	所蔵
23	サクラビールポスター 『桜ビール』文字入りの和服を着て給仕する女性		大正 5 年(1916)	日本精版印刷合資会社	*サ
24	アサヒビールポスター 朝日の傘を持つ和服の女性		大正 6 年(1917)	市田オフセット印刷株式会社	*サ
25	大日本麦酒ポスター 団扇を持つ黒い和服の女性	波々伯部 金洲	大正 6 年(1917)頃	大江印刷所	*サ
26	サクラビールポスター 『さくら』文字入りの和服を着た女性	金森観陽	大正 6～10 年 (1917-21)	日本精版印刷株式会社	*サ
27	サッポロビールポスター 星印のグラスを給仕する女性		大正 6～10 年 (1917-21)	日本精版印刷合資会社	*サ
28	エビス・サッポロビールポスター 肩を組む三人の和服の女性		大正 6～9 年 (1917-20)	精版印刷株式会社	*サ
29	桜正宗ポスター 桜の前に立つ紺色の和服の女性		大正 7 年(1918)	三間印刷所	*サ
30	蜂印香竈葡萄酒ポスター 鳥柄の和服を着てグラスを掲げる女性		大正 7～8 年 (1918-19)	三間印刷所	*サ
31	サッポロビールポスター 踊り子	T.Suduki (すずき)	大正 10～11 年 (1921-22)	日本精版印刷株式会社	*サ
32	赤玉ポートワインポスター グラスを持つ半裸の女性	片岡敏郎 井上木它	大正 11 年(1922)	市田オフセット印刷株式会社	*サ
33	カスケードビールポスター 暖簾から覗く女性		大正 9～昭和 4 年 (1920-29)		*サ
34	金線サイダーポスター		大正 11～13 年 (1922-24)	藤井改進黨	*サ
35	龍宮サイダーポスター		大正 9～昭和 4 年 (1920 年代)	東京山口図案社印刷部	*サ
36	キッコーマン醤油ポスター 商標入りの日傘を差す和服の女性	町田隆要	大正 12 年(1923)	三間印刷合名会社	*サ
37	蜂印香竈葡萄酒ポスター 蜂の髪飾りを付けた女性		大正 13 年(1924)	精版印刷株式会社	*サ
38	キリンビールポスター グラスを持つドレスの女性		大正 13 年(1924)	精版印刷株式会社	*サ
39	アサヒビールポスター 提灯を持つ女性	北村百泉	大正 14～昭和元年 (1925-26)	精版印刷株式会社	*サ

40	月姫サイダー 電話をかける和服の女性		大正末～昭和期 (1920年代後半以降)		*サ
41	キリンビールポスター 新橋芸者まり千代と横浜新工場	多田北鳥	(大正 15)昭和元年 (1926)	精版印刷株式 会社	*サ
42	サクラビールポスター 『桜ビール』文字入りの和服を着て給 仕する女性		大正 5 年(1916)	日本精版印刷 合資会社	*サ
43	アサヒビールポスター 朝日の傘を持つ和服の女性		大正 6 年(1917)	市田オフセッ ト印刷株式会 社	*サ

後期 (11/19-12/21)

第1会場 ギャラリー1 (昭和初期のポスター)

No.	作品名	作者名	制作年	印刷所	所蔵
1	ユニオンビールポスター レストランのドレスの女性	町田隆要	昭和元～8年 (1926-33)	三間印刷所	*サ
2	月桂冠ポスター 酒をつぐ紫色の和服の女性	松田富喬	昭和 2～6 年 (1927-31)	日清印刷株式 会社	*サ
3	白鶴ポスター 臙脂色の和服の女性	孫	昭和 2～10 年 (1927-35)	日清印刷株式 会社	*サ
4	金星サイダーポスター (名入れ違い) サイダーを飲む少女		昭和初期 (1920年代半ば)		*サ
5	月姫サイダーポスター (名入れ違い) サイダーを飲む黄色い洋服の女性		昭和初期 (1920年代半ば)		*サ
6	味の素ポスター 口元を袖で隠す和服の女性	伊東深水	昭和 3 年(1928)	精版印刷株式 会社	*サ
7	エビスビールポスター 日傘を差す女性	清水良雄	昭和 3 年(1928)	日清印刷株式 会社	*サ
8	カルピスポスター カルピスを持つ赤い洋服の女性	伊原宇三 郎	昭和 3 年(1928)	中田印刷所	*サ
9	サクラビールポスター 桜の旗を背にビールを掲げる女性	樋口富麿 呂	昭和 3～6 年 (1928-31)	精版印刷株式 会社	*サ
10	カスケードビールポスター 三人の踊り子とビール	和田三造	昭和 4 年(1929)		*サ
11	菊正宗ポスター 菊花模様の和服の女性	北野恒富	昭和 4 年(1929)頃	日東印刷株式 会社	*サ
12	サクラビールポスター 背中の開いたドレスの女性	松田富喬	昭和 4 年(1929)頃	日清印刷株式 会社	*サ
13	ヒゲタ醤油ポスター 書状を広げる女性	多田北鳥	昭和 4～9 年 (1929-34)	共同印刷株式 会社	*サ
14	ヤマセ醤油ポスター	森本茂二	昭和 5 年 (1930)前後		*サ

15	薬用ベビーカロール [ポスター]		山田愛蔵印刷所	* 図
16	リモナーデ [ポスター]	明治 22~昭和 30年(1889-1955)頃	高田印刷合資会社	* 図
17	浅田飴 [絵看板]	明治 22~昭和 18年(1889-1943)頃		* 図
18	いのちの親 [絵看板]	明治中期~後期頃		* 図
19	仁濟家庭薬 [絵看板]	明治末~大正期頃		* 図
20	寶心丹 [くすり広告]	明治 22~昭和 22念(1889-1947)頃		* 図
21	胸和散 せきの妙薬 [くすり広告]	明治 10 年代後半~26 年(1883-93)頃		* 図
22	肝之良薬下気圓 [くすり広告]	明治 12年(1879)頃		* 図
23	家庭常備薬 [くすり広告]	昭和 10 年代頃		* 図
24	有効保証家庭薬 [くすり広告]	昭和 10 年代頃		* 図
25	小児胃腸薬レスト [くすり広告]	昭和 10 年代頃		* 図

第2会場 ギャラリー2〈昭和初期のポスター、大衆モダンデザイナー-家族、母子、男性、風景〉

No.	作品名	作者名	制作年	印刷所	所蔵
26	菊正宗ポスター 短冊を書く和服の女性		昭和 4 年(1929)	日東印刷株式会社	* サ
27	日本盛ポスター 杯を持つ黒い和服の女性	伊東深水	昭和 7 年(1932)		* サ
28	キリンビールポスター パラソルを持つ水着の女性	多田北鳥	昭和 7 年(1932)	精版印刷株式会社	* サ
29	アサヒビールポスター 酒場の棚の前の女性	堤貞二	昭和 7 年(1932)頃	精版印刷株式会社	* サ
30	アサヒビールポスター グラスを手に振り返る黄色いドレスの女性	高木葆翠	昭和 9 年(1934)頃	精版印刷株式会社	* サ
31	サクラビールポスター 桜の指輪をした女性		昭和 10 年(1935)以降	大日本印刷株式会社	* サ
32	月桂冠ポスター 男性のシルエットから覗く女性	松田富喬	昭和 10 年(1935)以降	大日本印刷株式会社	* サ
33	万歳焼酎ポスター		昭和 13 年(1938)	大日本印刷株式会社	* サ
34	三ツ矢サイダーポスター ストローでサイダーを飲む女性		昭和 11 年(1936)	精版印刷株式会社	* サ

35	ユニオンビールポスター 白い帽子の女性	高木葆翠	昭和 7 年(1932)	合資会社藤井改進堂	*サ
36	リボンシトロン 三ツ矢サイダー 金線サイダー サイダーを飲む運動着姿の女性	木本繁登	昭和 11 年(1936) 以降	藤井印刷合資会社	*サ
37	養老サイダーポスター	S.KAMIUCHI	昭和 5~14 年 (1930 年代)	津田文精社	*サ
38	麒麟ビールポスター (大戦ポスター) 兵隊のシルエットの女性	多田北鳥	昭和 14 年 (1939)	精版印刷株式会社	*サ
39	三ツ矢サイダーポスター サイダーを飲む母子		大正 14 年(1925) 頃		*サ
40	エビスビールポスター ビールを見る家族	多田北鳥	昭和 4 年(1929)	精版印刷株式会社	*サ
41	アサヒビールポスター 太った紳士		大正 12 年(1923)	大江印刷株式会社	*サ
42	エビスビールポスター 湖畔でビールを飲む男性	満谷国四郎	大正 14 年(1925)	凸版印刷株式会社	*サ
43	レッキスポスター 給仕する男性		昭和 2 年(1927)頃	服部印刷	*サ
44	アサヒスタウトポスター ビールを掲げる紳士	武村清重	昭和 10 年(1935)	大日本印刷株式会社	*サ
45	カルピスポスター カルピスを飲む太陽	岸秀雄	昭和 8 年(1933)		*サ
46	麒麟ビールポスター バスケットの中の麒麟ビールとキリンレモン	多田北鳥	昭和 13 年(1938)	精版印刷株式会社	*サ

*所蔵表記は、「*サ=サカツ・コレクション」「*図=城西大学水田記念図書館蔵」「*美=城西大学水田美術館蔵」となります。

久保孝久風景画展－自然を見つめて－

埼玉在住の日本画家 久保孝久 (1950-) の風景画をご紹介します。自然と向き合い、静けさの中にも僅かな時間の流れ、空気の変化をつぶさに捉えながら画面に表現する久保の風景画からは高潔さを感じるとともにどこか親しみのある気持ちも抱かせてくれる。本展では、院展に初入選した1981年から近作までの16点を二期に分けてご覧頂いた。

会 期 | I 期 2020年1月7日 (火) ~25 日 (土)

II 期 2020年2月4日 (火) ~22日 (土)

会 場 | 水田美術館2階ギャラリー2

主 催 | 城西大学水田美術館

観覧者数 | 706人 (I 期 II 期計)

関連企画 | ・作家によるギャラリートーク

講師 : 久保孝久

1月11日 (土)、2月15日 (土) 14時40分~15時 /

会場 : 展示室

記事掲載 | 広報さかど (2020/1/1発行)、新美術新聞

(2020/1/21発行)

地域新聞ショッパー (2020/1/17発行)、埼玉新聞 (2019/12/1発行)



出品作品 | I 期 (2020/1/7-25)

No.	作品名	制作年	号数	寸法(cm)	材質技法	出品歴
1	春韻	1981(昭和 56)	150	215.0×169.0	紙本、彩色、額(1面)	日本美術院 再興第 66 回展覧会
2	寂韻	1983(昭和 58)	150	176.0×219.0	紙本、彩色、額(1面)	日本美術院 再興第 68 回展覧会
3	晩秋	1984(昭和 59)	150	219.0×174.0	紙本、彩色、額(1面)	日本美術院 再興第 69 回展覧会
4	龍門の滝	1985(昭和 60)	150	158.0×220.0	紙本、彩色、額(1面)	日本美術院 再興第 70 回展覧会
5	日光の滝	1987(昭和 62)	150	214.0×170.0	紙本、彩色、額(1面)	日本美術院 再興第 72 回展覧会
6	懸崖	1988(昭和 63)	150	168.0×219.0	紙本、彩色、額(1面)	日本美術院 再興第 73 回展覧会
7	夕照	1993(平成 5)	150	162.0×218.0	紙本、彩色、額(1面)	日本美術院 再興第 78 回展覧会
8	野辺山	1996(平成 8)	150	158.0×218.0	紙本、彩色、額(1面)	日本美術院 再興第 81 回展覧会

II 期 (2020/2/4-22)

No.	作品名	制作年	号数	寸法(cm)	材質技法	出品歴
1	残雪の道	2000(平成 12)	150	173.0×218.0	紙本、彩色、額(1面)	日本美術院 再興第 85 回展覧会

2	光徳への道	2001(平成 13)	150 170.0×218.0 紙本、彩色、額(1面)	日本美術院 再興第 86 回展覧会
3	光の高原	2011(平成 23)	100 162.0×162.0 紙本、彩色、額(1面)	日本美術院 再興第 96 回展覧会
4	秋翳る道	2013(平成 25)	150 173.0×218.0 紙本、彩色、額(1面)	日本美術院 再興第 98 回展覧会
5	残雪の高原	2014(平成 26)	150 169.0×218.0 紙本、彩色、額(1面)	日本美術院 再興第 99 回展覧会
6	雪林	2015(平成 27)	150 167.0×218.0 紙本、彩色、額(1面)	日本美術院 再興第 100 回展覧会
7	雪惜しむ高原	2016(平成 28)	150 168.0×218.0 紙本、彩色、額(1面)	日本美術院 再興第 101 回展覧会
8	沖つ波	2019(令和 1)	150 152.0×218.0 紙本、彩色、額(1面)	日本美術院 再興第 104 回展覧会

教育普及

1 講演会・ワークショップ・ギャラリートーク

「水田コレクション展 役者絵」 講演会

役者絵の楽しみ方

日 時 | 2019年4月13日(土) 14時～15時30分

講 師 | 新藤茂(国際浮世絵学会常任理事)

参加者数 | 24名

「水田コレクション展 役者絵」 ギャラリートーク

日 時 | 2019年4月27日(土) 14時～14時30分

学芸員 | 紫村裕美

参加者数 | 11名

「2018年度収蔵品展 Part1. 《大江戸芝居年中行事》—明治の浮世絵にみる江戸の歌舞伎興行—」 ギャラリートーク

日 時 | 2019年5月25日(土) 14時～14時40分

学芸員 | 紫村裕美

参加者数 | 15名

「2018年度収蔵 新収蔵品展 Part2. 楊洲周延《時代かどみ》全点展示」 スライドトーク

日 時 | 2019年7月6日(土)、7月20日(土) 各日 14時～14時40分

学芸員 | 紫村裕美

参加者数 | 7/6 : 5名、7/20 : 4名

「浮世絵 meets 紙の魔術師 江戸のペーパークラフト組上絵×太田隆司ペーパーアート展
ー時代（とき）を超えて出逢う紙の世界ー」 組上絵ギャラリートーク

日 時 | 2019年9月14日（土）14時～14時40分

学芸員 | 紫村裕美

参加者数 | 7名

「浮世絵 meets 紙の魔術師 江戸のペーパークラフト組上絵×太田隆司ペーパーアート展
ー時代（とき）を超えて出逢う紙の世界ー」 太田隆司ギャラリートーク+ペーパーア
ートワークショップ

3Dメッセージカードを作ろう！

日 時 | 2019年9月28日（土）13時～15時

講 師 | 太田隆司（ペーパーアーティスト）

参加者数 | ギャラリートーク : 27名、ワークショップ : 10名

「サカツ・コレクション 日本のポスター芸術ー引札、ポスターにみる広告アート
ヒストリーー」 講演会

サカツ・コレクションにみる日本広告芸術の流れ

日 時 | 2019年11月9日（土）13時30分～15時30分

講 師 | 田島奈都子（青梅市立美術館学芸員）

参加者数 | 5名

「サカツ・コレクション 日本のポスター芸術ー引札、ポスターにみる広告アート
ヒストリーー」 ギャラリートーク

美人画ポスター鑑賞のツボ

日 時 | 2019年12月7日（土）14時40分～15時40分

講 師 | 田島奈都子（青梅市立美術館学芸員）

参加者数 | 2名

「サカツ・コレクション 日本のポスター芸術ー引札、ポスターにみる広告アート
ヒストリーー」 ギャラリートーク

日 時 | 2019年11月16日（土）、12月14日（土）各日14時～14時40分

学芸員 | 紫村裕美

参加者数 | 11/16 : 4名、12/14 : 7名

「久保孝久風景画展ー自然を見つめてー」 ギャラリートーク

日 時 | 2020年1月11日（土）、2月15日（土）各日14時40分～15時

講 師 | 久保孝久

参加者数 | 1/11 : 37名、2/15 : 47名

2 メディア放映・掲載（資料提供）※申請順

- ・河出書房新社『はじめての浮世絵』全3巻のB5判1冊縮小版2019年8月20日発行：鈴木春信《六玉川 井手の玉川》、喜多川歌麿《針仕事》
- ・町田市立国際版画美術館展覧会図録『美人画の時代－春信から歌麿、そして清方へ－』2019年10月5日発行：山川秀峰《弥生》、上村松園《美人納涼図》
- ・名都美術館展覧会図録『鏑木清方－清くあれ、潔くあれ、うるはしくあれ－』2019年10月11日発行：鏑木清方《富士額》
- ・BS-TBS「オトナ女子ストーリーズ」2019年9月15日放送：喜多川歌麿《針仕事》
- ・株式会社藝華書院『菱川師宣－古風と当風を描く絵師－』2020年2月発行：菱川師宣《見立石山寺紫式部図》

3 中学校職場体験学習

地域貢献活動の一環として、下記日程にて近隣中学校より職場体験学習を受け入れた。

実施日：2020年1月22日（水）、23日（木）

実施場所：城西大学水田美術館

参加者：坂戸市立城山中学校1年生1名

考古資料

地域連携および貢献活動の一環として、坂戸市を中心に近隣地域より寄託を受けている考古資料に関し以下の対応を取った。

- ・「モバイルミュージアム」の第2弾を22号館（薬学部棟）1階エントランスに増設。

貸出事業

『美人画の時代－春信から歌麿、そして清方へ－』町田市立国際版画美術館（会期：2019年10月5日（土）～11月24日（日））

貸出期間：2019年9月18日（水）～12月20日（金）

貸出作品名：山川秀峰《弥生》、上村松園《美人納涼図》

『鏑木清方－清くあれ、潔くあれ、うるはしくあれ－』名都美術館（会期：2019年10月11日（金）～12月15日（日））

貸出期間：2019年10月3日（木）～12月19日（木）

貸出作品名：鏑木清方《富士額》

寄贈図書件数

和書 66件

2019年度 来館者数

総来館者数 4,188名（一般来館者 2,487名、学内来館者 1,701名）

開館日数：197日（うち特別開館15日）